

## 文化・芸術振興、市民文化会館リニューアルオープン

アナ： 「市長が語る 2020 三島」第25回の今日は、「文化・芸術振興、市民文化会館リニューアルオープンについて」お話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： はじめに、市民文化会館がリニューアルオープンするそうですが、そのことについて教えていただけますか。

市長： はい、市民文化会館は、昨年10月から1年間休館させていただき、改修工事を行っておりました。休館中は市民の皆様にご不便をおかけしておりましたが、皆様のご協力のおかげで、無事に工事が終了し、予定どおり、来週10月1日にリニューアルオープンの運びとなりました。

リニューアルした主な箇所ですが、大・小ホールについては、老朽化していた舞台音響設備や舞台照明設備等を最新の設備に更新しました。また、「段差があり、和式便座が多くて利用しにくい」というご意見をいただいております大ホールの女子トイレは、段差をなくして洋式トイレを増やし、誰もが利用しやすいトイレに改修いたしました。

会議室棟については天井や壁、床等を改修し、照明の大部分をLED化しましたので、省エネで、かつ今までよりも明るい雰囲気の内内となっております。屋外広場については、からくり時計を撤去し、ステージの移設などを行い、開放感のあるスペースとなっております。

さらに、今回の改修では、新型コロナウイルス感染症対策として、市民の皆様が安心して利用できるように、空調設備の換気機能を強化しております。大・小ホールは密閉された空間と不安を感じるかもしれませんが、ビル管理法に適合した換気性能を備えており、外気を取り入れる構造となっておりますので、過度に心配していただく必要はございません。

新しくなった市民文化会館で、安心して、心ゆくまで文化芸術を楽しんでいただきたいと思っております。

アナ： 新型コロナウイルス感染症対策もされたんですね。10月1日のリニューアルオープンが楽しみです。

次に、文化芸術振興のソフト事業の取組みはどのようなものがあるのでしょうか。

市長： 新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、三島市文化振興基本計画に基づき、各種文化事業を展開しているところでございます。

具体的に申し上げますと、市内在住の絵本作家 宮西達也先生に、市内小学校の「絵本の読み聞かせのワークショップ」を実施していただくほか、

幼稚園・保育園に、「静岡県舞台芸術センター」（通称：スパック）の俳優が出向く、「スパックおはなし劇場」などを実施し、子どもたちに質の高い文化・芸術を体験する機会を提供してまいります。

アナ： 子どもたちにとってわくわくするような楽しい体験となりそうですね。

市長： その他、「芸術祭」や「演劇祭」、「文芸三島の発行」を引き続き実施するとともに、今年は佐野美術館で、

・ 明治から昭和にかけて活躍した

「天才絵師・緒崎英朋（ひれざき えいほう）の美人画」や

・ 佐野隆一翁（さの りゅういち おう）が収集をはじめた佐野美術館コレクションの礎を紹介する

「はじまりのはなし ―佐野美術館の名刀コレクションを中心に― 」や

・ 「オサムグッズ」のキャラクターで人気を博したイラストレーター

「原田治（はらだ おさむ）展」などを

佐野美術館と三島市による共催で実施して参ります。

また、今年度で5年目となる、市民登録参加型の文化フェスティバル「みしまの文化百花繚乱」を、新型コロナウイルス感染症への対策を十分講じた上で実施します。

新型コロナウイルス感染症による影響で、多くの文化イベントが中止となっておりますが、「文化芸術を楽しみたい」という市民の皆さん一人ひとりの思いが、三島の文化・芸術を継続、さらには発展させていくための原動力になると考えています。今後も引き続き、市民・団体の皆さんの創作・発表・鑑賞活動等を支援して参りますのでご協力をお願いいたします。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。